

## 神は人を愛する

### 1 神はおられ、そして人を愛する

神の見えない永遠の力と神性の特徴は、世界が創造されて以来、明らかに見られており、造られた物によって認められているので、彼らには弁解の余地がありません。 (ローマ 1:20)

神はいないと言う人もいますが、数千年間もなぜ人が神を求めるのでしょうか。

人だけがなぜ神を思うのでしょうか。

わたしたちを感じる神の創造の中の大きな特徴は、この地が命に満ちているということです。

宇宙に多くの物質が満ちている事実は、意識のある命があって初めて存在が確認されます。

そして神は多くのことを行ない、それを記録して人に読ませ、聞かせ、理解させる機会を用意されました。

聖書の中で、非常に特徴的な記述は愛です。

愛がなかったならば、この宇宙に何の意味があるのでしょうか。

たとえわたしが自分の持ち物のすべてを施して、人を養うとしても、たとえわたしが誉れを得ようとして、自分の体を引き渡すとしても、愛がなければ何の益にもなりません。 (I コリント 13 : 3)

神の創造を見るなら、すべてのものが人のために用意されたことがわかります。

人のすべて必要、適切な熱、光、空気、水、食物、植物、動物、これらを神は用意されました。

人のためにこのようにすべての準備をしたのは何のためでしょう。

それは神が人を愛の対象として創造されたからです。

そして、神は人を彼ご自身のかたちに創造された。すなわち、神のかたちに人を創造し、男と女に彼らを創造された。 (創世記 1:27)

神は人を創造された時に、男と女とに創造されました。

男と女に創造したことは、神が人(女で代表されている)を愛することを示しています。

人が神の配偶者であるならば、この人は、神の命と性質を持っていなければなりません。

人はライオンを、馬を、犬を、猫を、鳥を配偶者にするのでしょうか。人はそれで満足するのでしょうか。

人は同じ命とその性質を持つ「人」を配偶者として求めます。神はなおさらそうです。

### 2 人は神の愛の対象だが失われた

そして神は人に自由意志を与えられました。

受け入れること・拒むことができる自由意志がない人が、神を愛したとしても神は喜ばれないでしょう。

しかし人はこの自由意志を正しく使いませんでした。

最初の人アダムの子孫であるわたしたちは、神を選ばず、心を神に向けず、神から離れました。

人は自由意志を間違っ使用し、神と交わりを持ち、神と一つとなることを考えなくなりました。

その結果の人の状態はどうでしょうか。

そして彼は群衆を見て、彼らに深く同情された。なぜなら、彼らは牧者のいない羊のように、苦しめられ、捨てられていたからである。 (マタイ 9:36)

人は失われ、罪を犯し、死んでいます。

失われたということは、帰るところを知らないということです。

罪を犯しているということは、神の方を向かず、自分が正しいと思う道を歩み続けているということです。

死んでいるということは、もはや神に対して感覚がなくなってしまったということです。

人は神の豊かな愛、喜び、親切、柔和、柔軟さ、生ける神への関心がなく、なにも反応できなくなりました。

### 3 神は人を回復する

しかし神は神です。神は愛です。彼は失われたものを回復することができる方です。

人が失ったものは神であり、神の命です。

神はご自身の愛の中で、失われたところからわたしたちを神に戻す方を遣わされました。

この方がイエス・キリストです。

まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの言を聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠の命を持っており、また裁きを受けることがなく、死から命へ移っているのである。

(ヨハネ5:24)

罪に満ちるこの世に、神は一人の人となって来られました。この方が主イエス・キリストです。

彼はわたしたちと同じ貧しい人の間で、正常な人間生活を送り、およそ三十歳のときに、ご自分の遣わされた務めをするために出て来られました。

彼は、神の王国がなんであるか、神のみこころがなんであるかを語られました。

彼は、貧しい人たち、傷ついている人、悩んでいる人たちを顧み、友となりました。

鎖に繋がれている人を解放し、歩くことができないでいる人を癒しました。

彼は、望みのない人に望みを与えました。

わたしたちの傷ついた心を解きほぐし、心を神に向けることができるように温めました。

すると大群衆が、足の不自由な者、盲人、体の不自由な者、口の利けない者、そのほか多くの病人を連れて、イエスの所にやって来た。そして、それらの人たちをイエスの足もとに置いたので、イエスは彼らをいやされた。

(マタイ15:30)

主イエスはわたしたちの罪を引き受けました。

彼はわたしたちの罪の報いの死をご自分が負うため十字架に行かれました。

この死のための血の代価を受け取った証拠に、神は彼を復活させました。

イエスはわたしたちの違犯のために死に渡され、わたしたちが義とされるために復活させられました。

(ローマ4:25)

わたしたちを生かし、さらにわたしたちに神の命を与えるために、彼は命を与える霊とされました。

そこで、「最初の人、アダムは、生きた魂と成った」と書かれていますが、最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。

(Iコリント15:45)

### 4 神のみこころの中の祝福へと戻る道

宇宙は今や、この命を与える霊である彼によって満たされました。

満たされていないのはただ、自由意志を持った、心のシャッターを閉じている人の内側だけです。

主イエスがわたしたちの罪を解決し、そしてわたしたちの中に入る、命を与える霊と成られました。

そのようにして、神はすべてを備え、わたしたちがただ心を開くことを待っておられます。

神は人の存在ためにすべてを備えた方ですから、彼は人の回復のためにすべてを備えないでしょうか？

しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して永遠に渴くことはない。わたしが与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである。」

(ヨハネ 4:14)

神の備え、主イエスに来て、飲む方法は簡単です。主イエスの名を呼ぶことです。

なぜなら、「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」からです。

(ローマ10:13)